

資料提供
令和8年5月22日
課名: 農林水産局水産課
担当: 半田・住吉
内線: 3613
直通電話: 082-513-3613

かきへい死に関する有識者会議について

1 要旨

令和8年度第1回広島県かきへい死に関する有識者会議（以下「有識者会議」という。）の開催を、次のとおり予定しています。

2 有識者会議の開催日時及び場所

(1) 日時

令和8年5月26日（火）10:30～（14:30 終了予定）

(2) 場所

広島県庁本館4階 広島海区漁業調整委員会委員室（広島市中区基町10-52）

3 取材について

- 取材を御希望の方は、5月25日（月）15時までに、別紙の取材申込書により申し込んでください。
- 会議は非公開（冒頭のみ撮影可）とし、取材希望があれば会議終了後（15:00～15:30 予定）に対応させていただきます。なお、会議結果の概要は、県が取りまとめて後日ホームページで公表します。
- 取材に当たっては、現地担当者の指示に従うとともに、会議の妨げ等にならないよう配慮してください。
- 取材される方は、記者証を持参の上、腕章を着用し報道機関関係者であることがわかるようにし、時間には余裕をもってお越しくください。

4 有識者会議の開催概要

(1) 目的

令和7年度に発生したかき大量へい死について、かきなど二枚貝の特性や漁場環境等に関する学識経験を有する有識者から意見を聴取し、県が原因分析及びその対策を検討するため。

(2) 令和8年度第1回有識者会議の議題（案）

- ア かき成育及び出荷状況に関する現状の共有について
- イ 令和7年度に発生したかきへい死の原因に関する暫定意見のとりまとめについて
- ウ 令和8年度のモニタリング体制及びへい死対策について

(3) 有識者の選定基準

次のいずれにも該当する者であること。

- ア マガキなど二枚貝の特性や漁場環境等に関する学識経験を有する者
- イ 公的研究機関に在職し、常時施設利用が可能である者又は本県研究機関においてかき養殖に関する研究実績を有する者

(4) 選定した有識者

令和8年1月16日付で、上記選定基準を満たす有識者として、次の6名を選定。

	所属	役職等	氏名	専門分野
1	福井県立大学 海洋生物資源学部 先端増養殖科学科	教授	濱口昌巳	カキ、アサリ、ウニ、ナマコ、アワビ類養殖技術開発、海藻・海藻類を含めた海洋生態系保全学
2	広島大学大学院 統合生命科学研究科	教授	小池一彦	海洋生物学、プランクトン生態学、水圏生産科学
3	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所 環境・基盤部門 沿岸生態システム部 (廿日市庁舎)	副部長	鬼塚剛	沿岸海洋学、環境動態解析、海洋の物理-生物モデリング
4	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所 環境・基盤部門 環境保全部 (廿日市庁舎)	部長	中山奈津子	殺藻ウイルスを活用した赤潮防除技術の開発と生理生態研究、水圏・土壌圏バクテリオファージの生理生態研究
5	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所 養殖部門 養殖技術開発部 繁殖生理グループ (南勢庁舎)	グループ長	松本才絵	繁殖生理学、二枚貝の種苗生産技術開発、親貝の養成と採卵技術開発
6	平田水産技術コンサルティング	代表	平田靖	かき採苗技術、かき養殖適正化技術

5 今後の有識者会議の開催予定

今年度実施するへい死防止対策の実施状況や効果検証を含めて、令和9年3月には令和8年度のへい死防止対策を含めた有識者会議の最終意見を取りまとめる予定。

申込先 E-mail : nousuisan@pref.hiroshima.lg.jp

取材申込書

日時 : 令和8年5月26日 (火) 10時30分～ (受付10時00分～)

場所 : 広島県庁本館4階 広島海区漁業調整委員会委員室

(広島市中区基町10-52)

下記項目をご記入の上、5月25日(月)15時までにメールでお申し込みください

貴社媒体名	
貴社名	
部署名	
ご芳名	他 名
ご連絡先	TEL E-MAIL
当日のご連絡先	
カメラ	有 (ENG/スチール) / 無 ※カメラ位置等は先着順とさせていただきます
放送日・掲載日	
備考	